

## 地質調査所研究資料集

この資料集は、地質調査所資料室(電話(0298)54-3605)で閲覧できます。

### 地質調査所研究資料集 No.206

D. Dorjgotov, S. Murao, T. Nakajima and L. Daramsenge (1994)

Ore formation types of lead zinc deposits in the Dornot metallogenic zone. 14p., 6figs., 2tables.

#### 内容紹介

最近の15年間にモンゴル国では多数の金属鉱床が発見された。これを受けて同国では鉱物資源分布図の編集作業が進んでいるが地質調査所のITITプロジェクトで共同研究の行われた東部地区(ドルノト鉱床区)について概略を公表する。火成作用、胚胎レベル、母岩、鉱床の形態、変質作用、鉱物組合せなどに基づくと同区の鉱床群は4種に大別される。すなわち、①浅成銅鉛亜鉛鉱床、②深成亜鉛鉛鉱床、③スカルン、④深成レアメタル含有鉱床の4グループである。①はウラン鉱床に代表されるもので流紋岩を母岩とする。②の代表はツァブ鉱床でハイテク元素が伴われる。③はBiを含みトムルティンオヴォに代表される。④はいわゆる錫-多金属鉱床でモンゴンオンドルなどが相当する。

### 地質調査所研究資料集 No.207

コーネル テロンダ編(1994)

南アフリカ、トランスファール地方、カープヴァール地塊への野外巡検ガイドブック。241p.

#### 内容紹介

この巡検は1993年9月6日に南ア地質調査所で行われたカープヴァール地塊の地質鉱床に関する南ア・日本ワークショップに付随して行われたもの。巡検ではリーダーとしてコーネルテロンダ博士(鉱物資源部訪問研究員)が説明に当たり、南アの東部を中心に、金、白金、クロム、ダイヤモンドなどの巨大鉱床の見学及び始生代の地層のトラバースを行った。このガイドブックはその際テロンダ博士により編集され、下記の巡検地について代表的な論文を収録したものである。

巡検の詳細は以下のとおり。なお、平成6年の地質ニュース(通巻479号)にこの巡検の特集号が組まれているので、それも参照されたい。

1. 時期及び期間： 1993年9月2日-9月18日(17日間)
2. 巡 検 地： フレーダフォート隕石孔、ウィットウォーターランド含金礫岩鉱床、コマチアイト、バーバトン地域の熱水性鉄鉱床、バーバトン地域の剪断帯金鉱床、パラボラ燐(アパタイト)鉱床、プッシュフェルト東部岩体クロム鉱床、プッシュフェルト西部岩体白金鉱床、キンバーライト中ダイヤモンド鉱床など
3. 共 催： 地質調査所鉱物資源部・資源地質学会

### 地質調査所研究資料集 No.208

安田 聡・磯部一洋(1994)

東京都新島村羽伏浦崩落状況調査資料。26p., 26figs., 1table.

#### 内容紹介

斜面災害の発生と地表の風化・浸食・運搬・堆積などの外因的地質作用の関連性を明らかにする研究の一環として、新島村の南東に位置する羽伏浦の崩落状況を把握するため、撮影年時の異なる4時期の空中写真を用いて地形調査を行った。

本資料集は、これらの調査のために作成した、縮尺1/2,500精密地形図・崩落地形断面図及び崩落面積・浸食量などをまとめたものである。

#### 地質調査所研究資料集 No.209

安田 聡・渡辺和明・斎藤英二・奥村晃史・寒川 旭(1994)

糸魚川・静岡構造線活断層系「牛伏寺断層」精密地形図。20p., 18figs.

##### 内容紹介

工業技術院特別研究「地震予知に関する地質学・地球化学的研究」における、活断層の活動性の研究の一環として、糸魚川・静岡構造線活断層系中部の松本盆地東南部に存在する、牛伏寺断層において精密地形調査を行った。

本資料集は、これらの調査のために作成した精密地形図をまとめたものである。

#### 地質調査所研究資料集 No.210

西澤 修・雷 興林(1994)

Tomo 系列ソフトウェアガイドブック — TomoM, TomoR, TomoV. 136p.

##### 内容紹介

本資料は MS-WINDOWS で利用できる簡易な波線計算プログラムとその機能/取扱い説明書である。このソフトウェアは次の三つのモジュールから構成されている。1. モデルの作成と波線計算のための TomoM, 2. 速度トモグラフィーのインバージョン計算を行う TomoR, 3. 結果を効果的な図で表現するための TomoV. TomoM では MS-WINDOWS のビジュアルな環境の中でマウス操作によって対話的にモデルを作成できる。速度構造は三角形セルを単位として与える。波線計算では各三角形セルの各辺に節点をおき、この節点を結ぶ線の中での最短走時を与えるものを選ぶ。TomoR では SIRT によるインバージョン計算を行い、情報量規準に基づくモデル選択ができる。TomoV では等高線表示、3次元表示などのほか、Mathematica など市販ソフトへのデータ形式変換も簡単にできる。

#### 地質調査所研究資料集 No.211

上野三義・柴田 賢・大森江い・大森貞子(1994)

マレーシア国サバール南東部の火山岩類。40p., 17figs., 12tables, 17plates.

##### 内容紹介

ボルネオ島 Sabah 南東部の Semporna 半島には、新第三紀中新世中期—鮮新世の安山岩ないし石英安山岩及び第四紀の玄武岩からなる火山が点在する。筆者らは主要な火山岩試料の顕微鏡観察、珪酸塩化学分析及び CIPW ノルム計算と、ジルコンのフィッシュトラック法及び全岩の K-Ar 法による年代測定を行った。この地域の火山岩類はソレイアイト質マグマに由来し、年代測定値は 70-1.6Ma の範囲にある。

このほか非金属資源として硫黄鉱床及び粘土鉱床が産出する。(英文タイプ)

#### 地質調査所研究資料集 No.212

文 宝萍・村田泰章・野呂春文(1994)

中国甘粛省の1/100万数値地質図。13p., 1fig., 9tables.

##### 内容紹介

甘粛(Gansu)省は、中国の北西部に位置し、モンゴル人民共和国に隣接する面積45,000平方キロメートルの中国最大級の省である。筆者らは、約4ヶ月を費やして同省の1/100万地質図を数値化し、そのデータを収めたCD-ROMを作成した。

数値化は、地理情報システムの一つである Arc/Info を用いて行った。数値地質図の凡例は、

地質時代, 岩石区分, 岩体などにより細かく分類され, その総数は 322 にも及んだ. この数値地質図の主な統計情報は, 閉曲面数 5,800, 境界線数 21,000 本(内断層 8,000 本), ファイルサイズ 7.3MByte である. CD-ROM に記憶した情報は, (1) 緯経度で表現した数値地質図, (2) ランベルト図法により投影した数値地質図, (3) 地質コード, 断層コードテーブルファイル, (4) ドキュメントファイルなど, であり, Arc/Info 以外の地理情報システム(又は, CAD システム)でも, この数値地質図を使用することができる.

本報告は, 数値化の概要及び CD-ROM を使用する際に必要となる数値地質図の内容について説明するものである.

#### 地質調査所研究資料集 No.213

松江千佐世・尾上 亨(1995)

地質標本館所蔵植物化石登録番号順リスト. 152p., 2tables, 7plates.

##### 内容紹介

1995 年 2 月発行の「地質標本館所蔵化石標本目録—第 1 部植物化石」の作成に際し, 市販のパソコン用ソフト「dBASE III PLUS」を利用した「簡易型地質標本管理・検索システム〈GEMS-II T〉」(松江, 1990)による登録植物化石データベースを構築した. 本データベースには, 地質標本館に登録されている植物化石のすべてを含んでいる.

このリストは, 登録植物化石データベースの内容を登録番号順にリスト出力したものであり, 登録番号, 標本タイプ: 器官, 標本分類コード 1, 2, 産地番号, 産地コード, 化石名, [新化石名], 産地, 5 万分の 1 地形図名, 地層名, 地層名英語表記, 採集者, 採集者英語表記, 地質時代コード, 地質時代英語表記, 文献, 備考の各項目からなる.

また, このリストは,

GSJ F04042-A<B Holo:FR B620 F830 07-02 07204

Acer matsuii Tanai et Onoe

[Acer rotundatum Huzioka]

福島県いわき市四倉町柴竹 平

滝夾炭層 Taki coal-bg Formation

棚井敏雅 Toshimasa Tanai

1223 Early Miocene

Tanai, T. and Onoe, T. (1959)

のように表示してある.

#### 地質調査所研究資料集 No.214

二宮芳樹(1995)

三層ニューラル・ネットワークの誤差逆伝播学習法: ソースコード公開. 22p., 9figs.

##### 内容紹介

ニューラルネットワーク情報処理は, 人間の脳の構造を単純にモデル化した, パターン認識の一手法である. 地球科学分野においても, ニューラルネットワークを応用した研究例が見受けられるようになってきた.

筆者は, これまでに, ニューラルネットワークを応用することにより, 実験室で測定した岩石の熱赤外域反射スペクトルから精度よくシリカ含有量が予測できることを示した. ここでは, まず, ニューラルネットワークと, それを学習させる方法の一つである誤差逆伝播法について概説する. 次に, 筆者が作成した三層ニューラルネットワークの誤差逆伝播学習法プログラム, 及び, それに関連するプログラム群のソースコードを公開し, いくつかの使用例を示す.

地質調査所研究資料集 No.2091

伊藤昌介(19XX)

岐阜県神岡鉱山資料. 24p., 5figs.

内容紹介

枋洞・茂住・円山各坑の坑内図・坑内地質図及び神岡鉱業所による小冊子「枋洞坑概況」「鉛製錬工場概況」(いずれも謄写印刷)を収録。

地質調査所研究資料集 No.2092

伊藤昌介(19XX)

北海道後志国広尾鉱山資料. 2figs.

内容紹介

坑道図を収録。

地質調査所研究資料集 No.2093

伊藤昌介(19XX)

宮城県細倉鉱山資料. 13figs.

内容紹介

地質図・坑内図及び鉱量表などを収録。

地質調査所研究資料集 No.2094

伊藤昌介(19XX)

秋田県花岡鉱山資料. 1fig.

内容紹介

鉱床地質図を収録。

地質調査所研究資料集 No.2095

伊藤昌介(19XX)

秋田県松岡鉱山資料. 3p., 4figs.

内容紹介

坑内図・探鉱柱状図など及び粘土焼成試験結果表などを収録。

地質調査所研究資料集 No.2096

加藤武夫・立見辰雄(1943)

日満鉱業滝ノ原鉱業所及旧八総銅山地域の地質及鉱床調査概報. 24p., 3figs.

内容紹介

調査は1943年。位置は福島県南会津郡荒海村及び館岩村。滝ノ原鉱床は古生層と花崗岩を不整合に覆う第三紀凝灰岩及び変質石英粗面岩中の割れ目充填脈。富鉱部の延長約30m, 幅約1m。鉱石は主に黄鉄鉱・閃亜鉛鉱。八総鉱床は古生層中の割れ目充填脈。脈幅は通常0.2-0.3m, 最大2m。鉱石は主に黄鉄鉱・閃亜鉛鉱。また木戸坑鉱床は第三紀凝灰岩及び変質石英粗面岩を母岩とする塊状鉱床で、方鉛鉱・閃亜鉛鉱・黄銅鉱などから成る黒鉱式鉱石を産出。加藤武夫(1943)による「滝ノ原及び八総銅山の鉱床に関する意見書」及び書簡を収録。(いずれも和文タイプ)

地質調査所研究資料集 No.2097

堀越義一(1935)

愛媛県別子銅鉱山資料。2figs.

内容紹介

鉱床地質図を収録。

地質調査所研究資料集 No.2098

河野義禮(19XX)

岩手県米内及び上米内赤鉄鉱山概要。9p., 1fig.

内容紹介

調査は太平洋戦争中。古生層の粘板岩中に脈状に胚胎される赤鉄鉱。米内鉱床は延長 35m, 幅 5-8m, 高さ 5-16m, 確定鉱量 8 万トン。上米内鉱床は延長 150m, 幅 7m, 高さ 15m, 確定鉱量 6.6 万トン。(和文タイプ)

地質調査所研究資料集 No.2099

岩生周一(1947)

静岡県宇久須珪石調査報告。24p., 7figs.

内容紹介

調査は 1947 年 1 月 31 日から 10 日間。位置は静岡県宇久須村と西豆村にまたがり、宇久須村宇久須の北北東約 4km, 西豆村小下田の東方約 3km, 鉱床は新第三紀中新世の変質安山岩を交代して生成。珪石帯・明礬石帯・粘土帯などから成る。本文は地調速報 no.27 に掲載。鉱床を記載メモ・鉱床地質図などを収録。

地質調査所研究資料集 No.2100

河野義禮(1941)

岩手県大峰銅鉱山資料。5p., 1fig.

内容紹介

調査は 1941 年。位置は岩手県上閉伊郡上郷村大字佐比内字上川原。鉱床は古生層粘板岩とそれを貫く花崗閃緑岩の接触部に胚胎。鉱体は楕状で延長約 120m, 厚さ約 30m。鉱石は主に黄銅鉱で、黄鉄鉱を伴う。品位は 1.5-3.3% Cu。生産量は 1941 年に粗鉱約 8 千トン。(手書き)

地質調査所研究資料集 No.2101

河野義禮(1943)

青森県鉄鉱調査報告。43p.

内容紹介

調査は 1943 年 10 月 21 日—12 月 16 日。三本木・稻生川・荒川・八甲草津・天間林・上北・大川目・毛無山・国盛・富神・黒石の各鉱山について、位置・交通・地質・鉱床・鉱石・品位・鉱量・鉱業などを記載。(手書き)

地質調査所研究資料集 No.2102

河野義禮(1943)

岩手県鉄鉱調査報告。62p.

内容紹介

調査は 1943 年 10 月 21 日—12 月 16 日。円子・北山・隆盛・盛岸・米内・盛岡・上峰ヶ沢・築川・砂子沢・甲子不動・根城・千徳・金牛・雲上・多々良・東聖の各鉱山について、位置・

交通・地質・鉱床・鉱石・品位・鉱量・鉱業などを記載。(手書き)

**地質調査所研究資料集 No.2103**

伊藤昌介(19XX)

秋田県太良鉱山資料。2figs.

内容紹介

坑内図などを収録。

**地質調査所研究資料集 No.2104**

河野義禮(194X)

岩手県マンガン鉱調査報告。26p.

内容紹介

調査は太平洋戦争中。大谷山・金沢・両石・大槌・前川吉里吉里・箱崎・日ノ神の各鉱山について、位置・交通・地質・鉱床・鉱石・品位・鉱量・鉱業などを記載。(手書き)

**地質調査所研究資料集 No.2105**

西尾潤四郎(19XX)

秋田県院内銀山資料。1fig.

内容紹介

鉱床付近地質図を収録。

**地質調査所研究資料集 No.2106**

河野義禮(194X)

福島県八総銅鉱山資料。16p., 1fig.

内容紹介

調査は太平洋戦争中。位置は福島県南会津郡館岩村大字八総字道木沢及び数間沢、会津線田島駅の南西直距 20km。鉱床は古生層粘板岩及び第三紀凝灰岩などを貫き、脈状に胚胎。規模は延長約 460m, 高さ 60m, 幅平均 30cm。鉱石は主に黄銅鉱、斑銅鉱・閃亜鉛鉱・方鉛鉱を伴う。品位は 0.8-1.5% Cu, 確定鉱量は約 9 千トン。(手書き)

**地質調査所研究資料集 No.2107**

河野義禮(1943)

岩手県下のモリブデン鉱床資料。16p., 3figs., 2tables.

内容紹介

調査は 1943 年に行われた。大川目・北頭・猫山・三ツ根・早池峯の各鉱山の地質・規模・鉱石・品位・確・推定鉱量などを記載。(手書き)。大川目鉱床の鉱床付近地質図・坑内図・鉱量計算書・選鉱成績表と北頭鉱山坑内図も収録。

**地質調査所研究資料集 No.2108**

伊藤昌介(19XX)

愛媛県大久喜舎銅硫化鉄鉱山資料。2figs.

内容紹介

坑内地質図・同断面図を収録。

**地質調査所研究資料集 No.2109**

安斎俊男(1949)

岐阜県富山県下黒鉛鉱山の鉱床調査. 36p.

内容紹介

調査は1949年10月の2週間、天生・元田・芦谷・角川・虎谷・金剛堂・勝野・杉原・直井・利賀の各鉱山について、地質・鉱床・鉱石・鉱量・品位などについて記載。(手書き)

**地質調査所研究資料集 No.2110**

浜野一彦・福井三郎(1949)

岡山県苫田郡地下資源調査報告. 111p., 4figs.

内容紹介

調査は1949年7月18日—29日、佐良山(螢石)・神楽尾(黄銅鉱)・成光(黄鉄鉱)・中山(〃)・一ノ宮(金銀)・金山(方鉛鉱)・東田辺(黄鉄鉱)・宝生(黄銅鉱)・大野(珪石)・枳形(金銀)・芦谷(〃)・大成(黄銅鉱)・土生(金銀)・草谷(黄銅鉱)・香々美(金銀)・香々美北(〃)・養野(〃)・三子原(銀)・長藤(方鉛鉱)・三子原(絹雲母)・奥津(陶土)の各鉱山について、地質・鉱床・鉱石・鉱量などを記載。(和文タイプ)

**地質調査所研究資料集 No.2111**

塚脇祐次(1949)

岡山県下地下資源調査報告(御津郡北部地区). 51p., 6figs.

内容紹介

調査は1949年7月、江与味・金倉・新山・塩谷の各銅鉱山と加茂珪石鉱山について、地質・鉱床・鉱石・鉱量などを記載。要旨は地調月報 vol.1, no.5, p.319 に掲載。(和文タイプ)

**地質調査所研究資料集 No.2112**

原口九萬・影山邦夫(1949)

岡山県資源調査報告. 31p., 4figs.

内容紹介

調査は1949年8月、立正(蠟石)・金川(黒鉛)・佐野(鉛垂鉛)・四帯江(銅)各鉱山について、地質・鉱床・鉱石・鉱量などを記載。要旨は地調月報 vol.1, no.5, p.319-320 に掲載。(和文タイプ)

**地質調査所研究資料集 No.2113**

小関幸治(1953)

青森県下北半島北部の硫黄・硫化鉄鉱床資料. 18p., 22figs., 2tables.

内容紹介

恐山鉱山付近の地質図・鉱床分布図・同柱状図などを収録。

**地質調査所研究資料集 No.2114**

赤木 健(1941)

愛媛県西宇和半島に於ける含銅硫化鉄床の開発に就いて. 9p.

内容紹介

調査は1941年7月、位置は八幡浜市北方、大峯・成安・九町・二見・三机・四浜・平磐・大泉・宝楽の各鉱床についての銅品位・鉱量などの概略を記載。(手書き)